

科目名

ペットプロデュース学科2年/トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	高橋 大		高橋 大
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<なし> 科目の必要性・業界での必要性 就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。 授業の特徴 就職活動で必要とされる知識等を身に付け、内定取得に向け積極的に活動する。 授業の進め方 マニュアル、板書、プリントを用いて説明する。		目標取得資格名<なし> 科目の必要性・業界での必要性 就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。 授業の特徴 就職活動で必要とされる知識等を身に付け、内定取得に向け積極的に活動する。 授業の進め方 マニュアル、板書、プリントを用いて説明する。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 ☆ 卒業年次としての心構え・求人情報の見方 第2週 ☆ ペット業界説明・就職までの流れの再確認 第3週 ☆ 面接試験対策① 第4週 ☆ 面接試験対策② 第5週 ☆ 自分の将来像を見る 第6週 ☆ 社会人（新入社員）として必要なこと 第7週 ☆ 職業理解及び自己目標の設定 第8週 ☆ 内定獲得に必要な要素 第9週～第15週 ☆ 実習・就職先で認められるために ☆ 弱点の発見、改善 ☆ 表現力の向上（面接、接客、実習） ※就職内定者は出席免除。 ただし毎月指定日には必ず出席の事。 ※就職活動スケジュールにより変更することもある。		第1週～第15週 ☆ 就職目的に応じた意識改善や面接対策等	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%以上で単位修得		出席率90%以上で単位修得	

ペットプロデュース学科2年/トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	石井 さより		石井 さより
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 業界について理解を深める 団体行動を学ぶ 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名 修得目標 業界について理解を深める 団体行動を学ぶ 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：必要事項の伝達（2年生進級に伴い） 第2週： 〃 第3週： 〃 第4週： 〃 第5週： 〃 第6週： 〃 第7週： 〃 第8週： 〃（運動会について） 第9週： 〃（運動会について） 第10週： 〃（運動会について） 第11週：合同企業説明会について 第12週：夏休みの過ごし方について 第13週：前期定期試験について 第14週：大掃除 第15週：後期について		第1週：必要事項の伝達（後期に伴い） 第2週： 〃（クラスレクについて） 第3週： 〃 第4週： 〃 第5週： 〃 第6週： 〃 第7週： 〃 第8週： 〃 第9週： 〃 第10週：卒業式、卒業パーティーについて 第11週： 〃 第12週：冬休みの過ごし方について 第13週：後期定期試験について 第14週：大掃除 第15週：卒業後について	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%以上で修得とする。			

ペットプロデュース学科2年／トリマー・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
☆最新犬種図鑑	石井 さより	最新犬種図鑑	石井 さより
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <トリマーライセンス> 習得目標 各犬種の特徴や性格、起源・分類を学ぶことによりお客様にスムーズな説明・接客を行なうことが出来る。 授業の特徴 犬種ごとの特徴（大きさ、毛質、耳、目、テール等）や性格、起源・分類を学ぶ 授業の進め方 座学による板書、小テスト、画像が多い場合はスライドを使用		目標取得資格名 習得目標 各犬種の特徴や性格、起源・分類を学ぶことによりお客様にスムーズな説明・接客を行なうことが出来る。 授業の特徴 2年間のまとめとして、全犬種の復習を行う 授業の進め方 座学による板書、画像が多い為スライドを使用	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
【犬種標準】 第1週：プードル 第2週： 〃 第3週： 〃 第4週：シュナウザー 第5週： 〃 第6週：テリアについて 第7週：『ワンクス』特別講義 第8週：『東京理器』特別講義 第9週：テリアについて 第10週： 第11週：血統書について 第12週： 〃 第13週：前期まとめ 第14週：前期定期試験 第15週：前期定期試験解答解説		【犬種標準】 第1週：犬種について 第2週：1グループ 第3週：2グループ 第4週：3グループ 第5週：4グループ 第6週：5グループ 第7週：6グループ 第8週：7グループ 第9週：8グループ 第10週：9グループ 第11週： 〃 第12週：10グループ 第13週：後期まとめ 第14週：後期定期試験 第15週：後期定期試験解答解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科2年 / トリマー科			
前期/授業予定回数：300回（1授業45分）		後期/授業予定回数：240週（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
・最新ドッググルーミング マニュアル	井上 麻弥子 山谷 佳奈	・最新ドッググルーミング マニュアル	井上 麻弥子 山谷 佳奈
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名 ＜トリマーライセンス＞</p> <p>習得目標 プードルのラムクリップを基本に様々な犬種のカット技術の基礎、応用を学ぶ。また、お客様の犬のトリミングを通し接客方法やオーダーの取り方を学ぶ。</p> <p>授業の特徴 生きた新しい情報を取り入れ、トリミングのスタンダードを基本とし、あらゆる犬種のトリミング知識と技術を学ぶ。</p> <p>授業の進め方 スタンダードを理解させ、トリミングの方法・形を覚えるだけではなく、自分で考えてカットさせる力をつける。</p>	<p>目標取得資格名 ＜トリマーライセンス＞</p> <p>習得目標 ペット業界の日々新しい情報と変化し改良されていくトリミングの方法に対応していく為に必要なトリミング技術を向上させる。</p> <p>授業の特徴 生きた新しい情報を取り入れ、トリミングのスタンダードを基本とし、あらゆる犬種のトリミング知識と技術を学ぶ。</p> <p>授業の進め方 スタンダードを理解させ、トリミングの方法・形を覚えるだけではなく、自分で考えてカットさせる力をつける。</p>		
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週～第15週</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ トリマー資格試験対策講義 ☆ 皮膚・被毛の管理方（シャンプー剤使い分け） ☆ テリア種ブラッキング ☆ 犬種別カット技法 ☆ お客様トリミング（に伴う接客の仕方） ☆ 7月学園認定トリマーライセンス実技（予定） ☆ 外部講師による特別授業（予定） <ul style="list-style-type: none"> ・プードル…ファーストコンチネンタルクリップ 		<p>第1週～第15週</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ トリマー資格試験対策講義 ☆ 10・1月学園認定トリマーライセンス ☆ 皮膚・被毛の管理法（シャンプー剤使い分け） ☆ テリア種ブラッキング ☆ 犬種別カット技法 ☆ お客様トリミング（に伴う接客の仕方） 	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
『トリミング実習評価表』に基づく + 平常点(授業態度) 100% ±10点		『トリミング実習評価表』に基づく + 平常点(授業態度) 100% ±10点	

ペットプロデュース学科2年／トリマー科

前期/		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			山谷 佳奈
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名</p> <p>科目の必要性・業界での必要性</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>		<p>目標取得資格名</p> <p>科目の必要性・業界での必要性</p> <p>お客様にスムーズな説明・接客を行なうため、業界の知識を身につけ、接客力をつける。</p> <p>授業の特徴</p> <p>業界の知識を幅広く学んだうえで、接客のロールプレイングなどを行い、スムーズな接客ができるようにする。</p> <p>授業の進め方</p> <p>座学、及び実習</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		<p>第1週：トリマーの仕事について</p> <p>第2週： 〃</p> <p>第3週：付加サービスについて</p> <p>第4週：利益を考えたトリミングについて</p> <p>第5週：接客用語</p> <p>第6週：受付対応</p> <p>第7週：電話対応</p> <p>第8週： 〃</p> <p>第9週：クレーム対応</p> <p>第10週：公共交通機関の乗り方</p> <p>第11週：ペットの法律</p> <p>第12週：後期まとめ</p> <p>第13週： 〃</p> <p>第14週：定期試験</p> <p>第15週：定期試験解答</p>	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		<p>定期試験 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>	

ペットプロデュース学科2年／トリマー科			
前期/授業予定回数：/60回（1授業45分）		後期/授業予定回数：/15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	井上 麻弥子		山谷 佳奈
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名 <経専学園認定グルーマーライセンス> <日本社会福祉愛犬協会認定C級グルーマーライセンス></p> <p>習得目標 トリミング実習をメインにトリミング技術の向上を目指し、又造型を行い骨格から犬体を理解する。更に、コンテストに向けデザイン力を養う。</p> <p>授業の特徴 ライセンスの取得・コンテスト入賞に向け、主に一人で時間や試験での採点ポイントを意識しながら実習を行う。</p> <p>授業の進め方 実習をメインとし、毎月第2週目は座学とする。</p>		<p>目標取得資格名</p> <p>科目の必要性・業界での必要性 就職に向けて、改めて骨格構成を理解する。</p> <p>授業の特徴 造形などを行い、犬体・骨格の理解を深め、カットのメリット、デメリットを考え、自らデザインを考える。</p> <p>授業の進め方 座学をメインとし、実習で経専学園トリミングコンテストを行う予定。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>・第1週 ～ 第15週：</p> <p>経専学園認定グルーマーライセンス実技試験合格に向けた実習 （グルーミング犬種一人1頭）</p> <p>経専学園認定グルーマーライセンス合格者は日本社会福祉愛犬協会認定C級グルーマーライセンス合格に向けたカット練習。 （カット犬種一人又は二人で1頭）</p> <p>その他、各犬種のグルーミング及びトリミング</p> <p>・6月29日、7月6日は座学とし犬体、骨格の理解を目的として造形などの授業を行う</p> <p>7月2週目校内トリマーライセンス実技試験 （予定）</p>		<p>第1週～第3週 ・個々に好みのカットを調べる</p> <p>第4週～第6週 ・グループで話し合い、テーマとデザインの決定</p> <p>第7週～第8週 ・骨組み作成とウィックほどこき</p> <p>第9週～第11週 ・粘土制作</p> <p>第12週 ・最終調整</p> <p>第13週～第15週 ・振り返り</p>	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
トリミング実習評価表に基づく + 平常点 100% ±10点		トリミング実習評価表に基づく + 平常点 100% ±10点	

ペットプロデュース学科2年/トリマー科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
JKC 最新 グルーミングマニュアル	井上 麻弥子		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <トリマーライセンス> 習得目標 スタンドを基本にあらゆる犬種のトリミング技術を身に付ける。また犬体別による応用力を身に付ける。 授業の特徴 トリミングのスタンダードを基本とし、あらゆる犬種のトリミング知識と技術を学ぶ。 授業の進め方 トリミングの方法を文字だけで覚え理解させるのではなく、形で理解してもらう為に犬体図や骨格図なども書き学習する。		目標取得資格名 <> 習得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 ・グルーミング・トリミング中の考え方と姿勢 ・ブラッキングの基礎知識（ブラッキングをする理由と意味） 第2週 ・ブラッキングの方法 第3週～4週 ・犬種別カット技法 プードル（ラムクリップ） 犬の犬体・骨格から考えるトリミング方法 校内試験に向けて 第5週～6週 ・犬種別カット技法 プードル（コンチ・サドル・ダッチクリップ） 第7週～10週 ・犬種別カット技法 プラッキングテリア種 （ワイヤーフォックス、ウエスティー、スコッチ、ジャックラッセル） 用途・沿革に沿いその犬種らしさを引き出すトリミング技法 第11週～12週 ・犬種別カット技法 ビションフリーゼ スタンドカット方法 ショークリップからペットカットまで 第13週 ・犬種別カット技法 スイニング犬種 アメリカンコッカースパニエル 第14週 前期定期試験 第15週 試験解答			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験＋平常点（授業態度）			
100%	±10点		

ペットフード・ペットケア学科/トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	太田 圭亮		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 取得目標 ペットショップやサロンにおいて必要となる看護知識を学習する 授業の特徴 板書や口頭説明だけでなく、図や写真などをつかって、目で見てわかりやすいかつ後々見返して理解できやすいような丁寧な資料作りに努める。 授業の進め方 座学		目標取得資格名 修得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：ペットフードについて 第2週： " 第3週：栄養素について 第4週： " 第5週：去勢手術について 第6週：避妊手術について 第7週：よく見る症状（嘔吐・下痢等）について 第8週： " 第9週： " 第10週：ケース別応急手当 第11週： " 第12週： " 第13週： " 第14週：定期試験 第15週：試験解答解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 ± 平常点 100% ± 10点			

ペットプロデュース学科2年/トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> 動物病院でトリミングを行う上で必要な看護知識を学ぶ			
<u>授業の特徴</u> 授業の区切りで小テストを実施し、理解度を深める			
<u>授業の進め方</u> 座学・実習			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：バイタルサイン 第2週：皮膚や皮膚疾患について 第3週： " 第4週：薬用シャンプー・薬浴 第5週：衛生管理（消毒薬など） 第6週：肥満が原因でおこる病気 第7週：歯周病が原因でおこる病気 第8週：咬む犬のトリミング方法 第9週：疾患のある犬の注意点とトリミング方法 第10週：（心疾患・眼科疾患・跛行など） 第11週： " 第12週： " 第13週：院内コミュニケーション 第14週：定期試験 第15週：試験解答解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科2年/トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	森川こずえ		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 猫の歴史と人間とのかかわり、猫の分類、特性、飼育、しつけ、健康管理について学習し、就職後に猫との関わりを持つ上で必要となる基礎知識を学ぶ。 授業の特徴 生体を取り入れる 授業の進め方 常に対話をしながら、学生の理解を確認しながら行う		目標取得資格名 < なし > 修得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：猫の歴史と人との関わり 第2週：品種について 第3週：猫の性格、習性 第4週：仔猫、猫の扱い方、接し方、注意点 第5週：猫の病気について 1 第6週：猫のトリミング、日々のお手入れ シャンプー 第7週：シャンプー実習 第8週：猫の病気 2 第9週：猫のお産について 第10週：病院での猫の扱い方について 第11週：シャンプー実習 第12週：猫と暮らし始める時の心構え、必要な道具 第13週：今までの授業を振り返って 第14週：定期試験 第15週：試験解答解説 多少授業の予定が前後する可能性があります。			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

科目名

ペットプロデュース学科2年/トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	高橋 大		高橋 大
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <なし> 科目の必要性・業界での必要性 就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。 授業の特徴 就職活動で必要とされる知識等を身に付け、内定取得に向け積極的に活動する。 授業の進め方 マニュアル、板書、プリントを用いて説明する。		目標取得資格名 <なし> 科目の必要性・業界での必要性 就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。 授業の特徴 就職活動で必要とされる知識等を身に付け、内定取得に向け積極的に活動する。 授業の進め方 マニュアル、板書、プリントを用いて説明する。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 ☆ 卒業年次としての心構え・求人情報の見方 第2週 ☆ ペット業界説明・就職までの流れの再確認 第3週 ☆ 面接試験対策① 第4週 ☆ 面接試験対策② 第5週 ☆ 自分の将来像を見る 第6週 ☆ 社会人（新入社員）として必要なこと 第7週 ☆ 職業理解及び自己目標の設定 第8週 ☆ 内定獲得に必要な要素 第9週～第15週 ☆ 実習・就職先で認められるために ☆ 弱点の発見、改善 ☆ 表現力の向上（面接、接客、実習） ※就職内定者は出席免除。 ただし毎月指定日には必ず出席の事。 ※就職活動スケジュールにより変更することもある。		第1週～第15週 ☆ 就職目的に応じた意識改善や面接対策等	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%以上で単位修得		出席率90%以上で単位修得	

ペットプロデュース学科2年/トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	石井 さより		石井 さより
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 業界について理解を深める 団体行動を学ぶ 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名 修得目標 業界について理解を深める 団体行動を学ぶ 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：必要事項の伝達（2年生進級に伴い） 第2週： 〃 第3週： 〃 第4週： 〃 第5週： 〃 第6週： 〃 第7週： 〃 第8週： 〃（運動会について） 第9週： 〃（運動会について） 第10週： 〃（運動会について） 第11週：合同企業説明会について 第12週：夏休みの過ごし方について 第13週：前期定期試験について 第14週：大掃除 第15週：後期について		第1週：必要事項の伝達（後期に伴い） 第2週： 〃（クラスレクについて） 第3週： 〃 第4週： 〃 第5週： 〃 第6週： 〃 第7週： 〃 第8週： 〃 第9週： 〃 第10週：卒業式、卒業パーティーについて 第11週： 〃 第12週：冬休みの過ごし方について 第13週：後期定期試験について 第14週：大掃除 第15週：卒業後について	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%以上で修得とする。			

ペットプロデュース学科2年／トリマー・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
☆最新犬種図鑑	石井 さより	最新犬種図鑑	石井 さより
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <トリマーライセンス>		目標取得資格名	
習得目標 各犬種の特徴や性格、起源・分類を学ぶことによりお客様にスムーズな説明・接客を行なうことが出来る。		習得目標 各犬種の特徴や性格、起源・分類を学ぶことによりお客様にスムーズな説明・接客を行なうことが出来る。	
授業の特徴 犬種ごとの特徴（大きさ、毛質、耳、目、テール等）や性格、起源・分類を学ぶ		授業の特徴 2年間のまとめとして、全犬種の復習を行う	
授業の進め方 座学による板書、小テスト、画像が多い場合はスライドを使用		授業の進め方 座学による板書、画像が多い為スライドを使用	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
【犬種標準】 第1週：プードル 第2週： 〃 第3週： 〃 第4週：シュナウザー 第5週： 〃 第6週：テリアについて 第7週：『ワンクス』特別講義 第8週：『東京理器』特別講義 第9週：テリアについて 第10週： 第11週：血統書について 第12週： 〃 第13週：前期まとめ 第14週：前期定期試験 第15週：前期定期試験解答解説		【犬種標準】 第1週：犬種について 第2週：1グループ 第3週：2グループ 第4週：3グループ 第5週：4グループ 第6週：5グループ 第7週：6グループ 第8週：7グループ 第9週：8グループ 第10週：9グループ 第11週： 〃 第12週：10グループ 第13週：後期まとめ 第14週：後期定期試験 第15週：後期定期試験解答解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科2年/ ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：240回（1授業45分）		後期/授業予定回数：240回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
・最新ドッググルーミング マニュアル	石井 さより 斉藤 映子	・最新ドッググルーミング マニュアル	石井 さより 斉藤 映子
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <経専学園認定トリマーライセンス> 習得目標 プードルのテディーベアーカットを基本に様々な犬種の カット技術の基礎・応用を学ぶ。また、お客様の犬のトリ ミングを通し接客方法やオーダーの取り方を学ぶ。 授業の特徴 生きた新しい情報を取り入れ、トリミングのスタンダード を基本とし、あらゆる犬種のトリミング知識と技術を学 ぶ。 授業の進め方 スタンダードを理解させ、トリミングの方法・形を覚える だけではなく、自分で考えてカットさせる力をつける。		目標取得資格名 <トリマーライセンス> 習得目標 一人一頭を時間内に終わらせる。 お客様のオーダーをしっかりと聞く。 授業の特徴 スタンダードを基本にあらゆる犬種のトリミング知識を 技術を学ぶ。 授業の進め方 自分で考えながらのカットやブリーダーの犬も客さんの 様に細かく注文してカットや想像力を身に付ける。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
○ <u>トリミング実習（お客様含む）</u> 接客・オーダーの取り方 ○ <u>皮膚、被毛の管理</u> シャンプー剤使い分け ○ <u>犬種別カット技法</u> 試験対策、各犬種カット技法 第1週～第2週 2人1組でカット 全身バリカン、身体バリカン 第3週～第6週 2人1組、又は1人でカット（1授業約6人） 第7週～10週 2人1組、又は1人でカット（1授業約6人） 第11週～15週 試験対策（1人1頭 2時間以内の仕上げを目指す） 学園認定トリマーライセンス実技（予定）		○ <u>トリミング実習（お客様含む）</u> 接客・オーダーの取り方 ○ <u>皮膚、被毛の管理</u> シャンプー剤使い分け ○ <u>犬種別カット技法</u> 試験対策、各犬種カット技法 第1週～第6週 2人1組でカット（4組） 1人でカット（4人） 第7週～10週 全員1人でカット 第11週～15週 全員1人でカット 学園認定トリマーライセンス実技（2名）	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
『トリミング実習評価表』に基づく + 平常点(授業態度)		『トリミング実習評価表』に基づく + 平常点(授業態度)	
100% ±10点		100% ±10点	

ペットプロデュース学科2年/ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回：5回（1授業90分）		後期/授業予定回数：5回（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
プリント	中村絵里花		中村絵里花
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<なし> 修得目標 ペット服についての様々な知識の学習や製作を通して、実際のショップで行われているサービスについて学ぶ 授業の特徴 実際のショップで行われているサービスについて学ぶことが出来る 授業の進め方 プリントを使用した座学やミシンを使用してグッズ製作を行う		目標取得資格名<なし> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方	
授業進行計画		授業進行計画	
第1回目：ペットの服について メリット・デメリット 第2回目：ペットの服について 採寸の仕方、サイズについて 第3～5回目 ：ミシンで作るリボンチョーカー 型紙、裁断、ミシン練習、本縫い		第1回目：座学 ペット服の形・生地の種類 第2～4回目 ：実習 クリスマスケープ作成	
成績評価方法		成績評価方法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科2年/ットショップ°スタッフ科			
前期/授業予定回数：5回（1授業45分）		後期/授業予定回数：3回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
プリント	橋本 理恵	プリント	橋本 理恵
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 ドッグアロマが与える犬への心身の働きについて学びアロマ、肉球クリーム、マッサージなどの活用方法について学ぶ		目標取得資格名 科目の必要性・業界での必要性 一般オーナーさんにも関心が高まっているドッグマッサージ・アロマ・ハーブの基本を学ぶ	
授業の特徴 アロマセラピーの基礎を学びながら犬のケアについて身に着けていく		授業の特徴 ドッグマッサージ・アロマ・ハーブの基礎を学びながら犬の幅広いケアを身に着けていく	
授業の進め方 プリント、実習にて体感、実践を大切にする		授業の進め方 プリント、実習にて体感、実践を大切にする	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：アロマセラピーとは、精油 第2週：犬への心身への働き 第3週：フローラルウォーター 第4週：ホームケアでの活用法 第5週：ドッグマッサージ		第1週：ドッグマッサージ 第2週：ドッグマッサージ 第3週：ドッグアロマ・ハーブのホームケアでの活用法	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科2年/ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：4回（1授業45分）		後期/授業予定回数：4回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	滝内 勝彦		滝内 勝彦
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名< なし > 修得目標 トリマー・ペットショップスタッフ・ドッグカフェスタッフとして、より付加価値の高いサービスを提供するための知識と技術を習得する。 授業の特徴 実際のショップで行われているサービスについて学ぶことが出来る。 授業の進め方調理中心に行う。		目標取得資格名< なし > 科目の必要性・業界での必要性 トリマー・ペットショップスタッフ・ドッグカフェスタッフとして、より付加価値の高いサービスを提供するための知識と技術を習得する。 授業の特徴 実際のショップで行われているサービスについて学ぶことが出来る。 授業の進め方調理中心に行う。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1回目：オリエンテーション 第2回目：原価率と経営について 第3回目：ローストチキン 第4回目：ワンちゃんクッキー		第1回目：サーモンのポーピエット 第2回目：ケーキサレ 第3回目：お芋のニョッキ 第4回目：チキンガランティース ※変更の場合があります。	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	

ペットプロデュース学科2年/ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数： 30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
緑書房 エキゾチックアニマル	大森 吾貴彦	緑書房 エキゾチックアニマル	大森 吾貴彦
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 ペットショップスタッフとして必要なエキゾチックアニマルの生態・習性・特徴および飼養管理について学習し、現場でお客様に対し説明や飼育指導ができるような知識を身に付ける。		目標取得資格名 修得目標 ペットショップスタッフとして必要なエキゾチックアニマルの生態・習性・特徴および飼養管理について学習し、現場でお客様に対し説明や飼育指導ができるような知識を身に付ける。	
授業の特徴 実際に動物に触れてから座学で注意点を学ぶ。		授業の特徴 実際に動物に触れてから座学で注意点を学ぶ。	
授業の進め方 テキスト、プロジェクター、板書を用いて説明する。		授業の進め方 テキスト、プロジェクター、板書を用いて説明する。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：ハリネズミの特徴について 第2週：ハリネズミの飼育方法 第3週：モモンガの特徴について 第4週：モモンガの飼育方法 第5週：リスの特徴について 第6週：リスの飼育方法 第7週：セキセイインコの特徴 第8週：オカメインコの特徴 第9週：文鳥の特徴 第10週：ウズラの特徴、鳥類の飼育方法 第11週：リクガメの特徴 第12週：前期のまとめ 第13週：前期のまとめ 第14週：定期試験 第15週：定期試験解答		第1週～第13週： ペットショップ店頭で見かける小動物の生態、体の特徴、飼養方法を座学中心に授業進行します。又、実際に動物に触れ、保定方法などを学ぶ。 第14週：定期試験 第15週：定期試験解答	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科2年/ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	ペットフード企業 担当講師		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> 科目の必要性・業界での必要性 ペットフードの原材料や特長などを理解する		<u>目標取得資格名</u> 科目の必要性・業界での必要性	
<u>授業の特徴</u>		<u>授業の特徴</u>	
<u>授業の進め方</u>		<u>授業の進め方</u>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週～第15週 フードメーカーと調整の上講義を実施 各メーカー終了ごとに小テストあり			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%以上で修得とする			

ペットフード・ペットケア学科/トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	太田 圭亮		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 取得目標 ペットショップやサロンにおいて必要となる看護知識を学習する 授業の特徴 板書や口頭説明だけでなく、図や写真などをつかって、目で見てわかりやすいかつ後々見返して理解できやすいような丁寧な資料作りに努める。 授業の進め方 座学		目標取得資格名 修得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：ペットフードについて 第2週： " 第3週：栄養素について 第4週： " 第5週：去勢手術について 第6週：避妊手術について 第7週：よく見る症状（嘔吐・下痢等）について 第8週： " 第9週： " 第10週：ケース別応急手当 第11週： " 第12週： " 第13週： " 第14週：定期試験 第15週：試験解答解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 ± 平常点 100% ± 10点			

ペットプロテュース学科2年/ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	大野 富美		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標必要性</p> <p>躰の観点から犬の性質を理解し、犬に触れる際に実際できるように学び、飼い主様からの相談に答えられるような知識を身に付ける</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>		<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
<p>第1週：問題行動について、具体例、対処法</p> <p>第2週： ↓</p> <p>第3週： ↓</p> <p>第4週： ↓</p> <p>第5週： ↓ ドッグスポーツについて</p> <p>第6週： ↓</p> <p>第7週： ↓ 犬との色々な遊びについて</p> <p>第8週： ↓</p> <p>第9週： ↓</p> <p>第10週： ↓</p> <p>第11週： ↓</p> <p>第12週： ↓</p> <p>第13週： ↓</p> <p>第14週：定期試験</p> <p>第15週：解答</p>			
成績評価方法		成績評価方法	
<p>定期試験 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科2年/トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 動物病院でトリミングを行う上で必要な看護知識を学ぶ 授業の特徴 授業の区切りで小テストを実施し、理解度を深める 授業の進め方 座学・実習			
授業進行計画		授業進行計画	
第1週：バイタルサイン 第2週：皮膚や皮膚疾患について 第3週： 第4週：薬用シャンプー・薬浴 第5週：衛生管理（消毒薬など） 第6週：肥満が原因でおこる病気 第7週：歯周病が原因でおこる病気 第8週：咬む犬のトリミング方法 第9週：疾患のある犬の注意点とトリミング方法 第10週：（心疾患・眼科疾患・跛行など） 第11週： 第12週： 第13週：院内コミュニケーション 第14週：定期試験 第15週：試験解答解説			
成績評価方法		成績評価方法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科2年/トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	森川こずえ		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標</p> <p>猫の歴史と人間とのかかわり、猫の分類、特性、飼育、しつけ、健康管理について学習し、就職後に猫との関わりを持つ上で必要となる基礎知識を学ぶ。</p> <p>授業の特徴</p> <p>生体を取り入れる</p> <p>授業の進め方</p> <p>常に対話をしながら、学生の理解を確認しながら行う</p>		<p>目標取得資格名 < なし ></p> <p>修得目標</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
<p>第1週：猫の歴史と人との関わり</p> <p>第2週：品種について</p> <p>第3週：猫の性格、習性</p> <p>第4週：仔猫、猫の扱い方、接し方、注意点</p> <p>第5週：猫の病気について 1</p> <p>第6週：猫のトリミング、日々のお手入れ シャンプー</p> <p>第7週：シャンプー実習</p> <p>第8週：猫の病気 2</p> <p>第9週：猫のお産について</p> <p>第10週：病院での猫の扱い方について</p> <p>第11週：シャンプー実習</p> <p>第12週：猫と暮らし始める時の心構え、必要な道具</p> <p>第13週：今までの授業を振り返って</p> <p>第14週：定期試験</p> <p>第15週：試験解答解説</p> <p>多少授業の予定が前後する可能性があります。</p>			
成績評価方法		成績評価方法	
<p>素点 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> 業界について理解を深める 団体行動を学ぶ <u>授業の特徴</u> <u>授業の進め方</u>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：必要事項の伝達 第2週： 〃 第3週： 〃 第4週： 〃 (運動会について) 第5週： 〃 (運動会について) 第6週： 〃 (運動会について) 第7週： 〃 (運動会について) 第8週： 〃 第9週： 〃 第10週：インターンについて 第11週： 〃 第12週：インターン前復習 第13週： 〃 第14週： 〃 第15週： 〃 (夏休み前注意事項)			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%以上で修得とする。			

科目名

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	高橋 大		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<なし> 科目の必要性・業界での必要性 就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。 授業の特徴 就職活動で必要とされる知識等を身に付け、内定取得に向け積極的に活動する。 授業の進め方 マニュアル、板書、プリントを用いて説明する。			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 ☆ 卒業年次としての心構え・求人情報の見方 第2週 ☆ ペット業界説明・就職までの流れの再確認 第3週 ☆ 面接試験対策① 第4週 ☆ 面接試験対策② 第5週 ☆ 自分の将来像を見る 第6週 ☆ 社会人（新入社員）として必要なこと 第7週 ☆ 職業理解及び自己目標の設定 第8週 ☆ 内定獲得に必要な要素 第9週～第15週 ☆ 実習・就職先で認められるために ☆ 弱点の発見、改善 ☆ 表現力の向上（面接、接客、実習）			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%以上で単位修得		出席率90%以上で単位修得	

ペットプロデュース学科2年／動物看護師科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	森川こずえ		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標</p> <p>猫の歴史と人間とのかかわり、猫の分類、特性、飼育、しつけ、健康管理について学習し、就職後に猫との関わりを持つ上で必要となる基礎知識を学ぶ。</p> <p>授業の特徴</p> <p>生体を取り入れる</p> <p>授業の進め方</p> <p>常に対話をしながら、学生の理解を確認しながら行う</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：猫の歴史と人との関わり</p> <p>第2週：品種について</p> <p>第3週：猫の性格、習性</p> <p>第4週：仔猫、猫の扱い方、接し方、注意点</p> <p>第5週：猫の病気について 1</p> <p>第6週：猫のトリミング、日々のお手入れ、シャンプー</p> <p>第7週：シャンプー実習</p> <p>第8週：猫の病気 2</p> <p>第9週：猫のお産について</p> <p>第10週：病院での猫の扱い方について</p> <p>第11週：シャンプー実習</p> <p>第12週：猫と暮らし始める時の心構え、必要な道具</p> <p>第13週：今までの授業を振り返って</p> <p>第14週：定期試験</p> <p>第15週：試験解答解説</p> <p>多少授業の予定が前後する可能性があります。</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>素点 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：45回（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護コアテキスト第6巻 動物看護の実践 (ファームプレス)	皆上 太一		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <動物看護師統一認定資格> 修得目標 主に犬猫のバイタルサインと病的変化を理解する。さらに主な疾患の機序及び症状、検査法、治療法を理解し看護に活かす。 授業の特徴 動物看護職統一資格試験の過去問を解答解説し、関連する部分を教科書などの教材で掘り下げます。 授業の進め方 講義毎に小テストを行い、定期試験の代用とします。			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 2014年度(2月)過去問から関連問題を抜粋 第2週 これらの解答解説など 第3週 〃 第4週 2014年度(3月)過去問から関連問題を抜粋 第5週 これらの解答解説など 第6週 〃 第7週 2015年度過去問から関連問題を抜粋 第8週 これらの解答解説など 第9週 〃 第10週 2016年度過去問から関連問題を抜粋 第11週 これらの解答解説など 第12週 〃 第13週 2017年度過去問から関連問題を抜粋 第14週 これらの解答解説など 第15週 〃			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
講義毎に小テストを行い、定期試験として代用			

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	太田 圭亮		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 修得目標 おもに犬猫に感染する内部寄生虫、外部寄生虫および微生物について理解し、予防と看護に活かす 授業の特徴 授業の進め方 座学			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：瓜実条虫 第2週：マンソン裂頭条虫 第3週：多包条虫 第4週：その他の条虫類 第5週：吸虫類 第6週：ジアルジア 第7週：トキソプラズマ 第8週：コクシジウム 第9週：マダニ 第10週：ノミ 第11週：毛包虫 第12週：その他外部寄生虫 第13週：" 第14週：定期試験 第15週：解答解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験±平常点 100% ±10点			

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護コアテキスト 第6巻	太田 圭亮		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 栄養及び主に犬猫に必要な栄養素、ペットフードの基本的知識と特別療法食の特性など適切な食事管理についての知識を身に付ける。			
授業の特徴			
授業の進め方 座学			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：ペットフードの歴史 第2週：栄養素について総論 第3週：5大栄養素・炭水化物 第4週： " " 第5週： " " 第6週：5大栄養素・脂質 第7週： " " 第8週： " " 第9週：5大栄養素・タンパク質 第10週： " " 第11週： " " 第12週：5大栄養素・ビタミン 第13週： " " 第14週：5大栄養素・ミネラル 第15週：まとめ			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験±平常点 100% ±10点			

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：15週（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	今木 康彦		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<動物看護師統一試験> 修得目標 人と動物の絆（HAB）の理念と動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育など社会活動を理解する 授業の特徴 認定試験対策を踏まえながら、日本では「アニマル・セラピー」と称されている動物介在介入について学んでいく 授業の進め方 板書しながら授業をし、さらに映像を見て学びを深くしていく		目標取得資格名<動物看護師統一試験> 修得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：人と動物の関係 狩猟・採集社会 第2週：人と動物の関係 農耕社会 第3週：人と動物の関係 ヴィクトリア朝時代 第4週：人と動物の関係 現代 第5週：動物介在介入とは何か 第6週：動物介在介入の歴史① 乗馬療法 第7週：動物介在介入の歴史② 盲導犬 第8週：動物介在介入の歴史③ 精神疾患への導入 第9週：動物からの人への恩恵①（身体的効果） 第10週：動物からの人への恩恵①（心理的効果） 第11週：動物からの人への恩恵①（社会的効果） 第12週：介在動物について 第13週：動物介在介入の基本的な実践方法 ①施設訪問型、施設飼育型 第14週：動物介在介入の基本的な実践方法 ②自宅訪問型、自宅飼育型 第15週：動物介在介入の基本的な実践方法 ③野外活動型 イルカ・セラピー			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護の教科書 第4巻	岩崎 忍		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <動物看護師統一試験> 修得目標 エマージェンシーの見極めとトリアージを理解し救急救命に活かす 授業の特徴 緊急時に慌てないように、イメージを持つように 授業の進め方 主にプリント配布とスライド			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週： エマージェンシーとは 第2週： トリアージの概念 第3週： 救急救命の基本（バイタルサイン） 第4週： ショックとは 第5週： 心肺蘇生法1 第6週： 心肺蘇生法2 第7週： 心肺蘇生法3 第8週： 外傷による救急疾患 第9週： 誤飲誤食 第10週： 中毒の種類と対処法 第11週： 熱中症の対処法 第12週： 溺水・感電などの対処法 第13週： 循環器系・呼吸器系疾患の対処法 第14週： 定期試験 第15週： 解答			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数：30週（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	岩崎 忍		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <動物看護師統一試験> 習得目標 主に犬猫のバイタルサインと病的変化を理解する。さらに主な疾患の機序及び症状、検査法、治療法を理解し看護に活かす 授業の特徴 さまざまな疾患のポイントを復習を先に行う 授業の進め方 グループワークなども取り入れて進める			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週： 動物看護概論 1 第2週： 動物看護概論 2 第3週： 動物看護概論 3 第4週： 消化器系疾患の看護 1 第5週： 消化器系疾患の看護 2 第6週： 消化器系疾患の看護 3 第7週： 消化器系疾患の看護 4 第8週： 消化器系疾患の看護 5 第9週： 消化器系疾患の看護 6 第10週： 栄養・代謝障害の看護 1 第11週： 栄養・代謝障害の看護 2 第12週： 感染症の看護 1 第13週： 感染症の看護 2 第14週： まとめと評価試験 第15週： 解答			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点 (授業態度) 100% ±10点			

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 ＜動物看護師統一認定試験＞ 取得目標 人と動物のより良い共生を目指し専門職の観点から飼い主指導に活かす。 授業の特徴 座学 授業の進め方 座学			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：ワクチン接種のアドバイス 第2週： 〃 第3週：投薬法のアドバイス 第4週： 〃 第5週：寄生虫予防薬のアドバイス1 第6週： 〃 第7週：デンタルケアのアドバイス 第8週： 〃 第9週：不妊手術の必要性 第10週： 〃 第11週： 〃 第12週：定期健診について 第13週：復習 第14週：定期試験 第15週：解答・解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科2年/動物看護師			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 修得目標 動物看護実習Ⅰでの実践能力に応用力を用いて正確性、迅速性を身に付ける。 授業の特徴 座学・実習 授業の進め方 座学・実習			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：前期復習 第2週：正常と異常を見極める力 第3週： // 第4週： // 第5週： // 第6週：エキゾチックアニマルの保定と飼育 第7週： // 第8週： // 第9週： // 第10週： // 第11週： // 第12週： // 第13週：復習 第14週：定期試験 第15週：解答・解説 ※上記日程・内容については、 生体確保等の理由により変更することがある			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（1授業分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護 実習テキスト	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <動物看護師統一認定試験> 修得目標 動物看護実習Ⅰでの実践能力に応用力を用いて正確性、迅速性を身に付ける。 授業の特徴 座学・実習 授業の進め方 座学・実習			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：入院舎の清掃 第2週：輸液（留置準備） 第3週： 〃 第4週： 〃 第5週： 〃 第6週： 〃 第7週：創傷管理 第8週：包帯法 第9週： 〃 第10週： 〃 第11週：1年時復習 第12週： 〃 第13週： 〃 第14週：定期試験 第15週：解答・解説 ※上記日程・内容については、 生体確保等の理由により変更することがある			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数：120回（1授業45分）		後期/授業予定回数：120回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	岩元 奈穂 青木 美帆		岩元 奈穂
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名 <院内グルーマライセンス></p> <p>習得目標 道具や犬の扱いを再確認し、状況に合わせた扱い方をマスターする。</p> <p>授業の特徴 トリミング作業の基本とトリマーとしての心構え、技術を学ぶ。</p> <p>授業の進め方 トリミング作業の基本と流れ、トリマーとしての心構え、技術を段階的に学ぶ。</p>		<p>目標取得資格名 <トリマーライセンス></p> <p>科目の必要性・業界での必要性 道具や犬の扱い方を再確認し、状況に合わせた扱い方をマスターする。</p> <p>授業の特徴 トリミング作業の基本とトリマーとしての心構え、技術を学ぶ。</p> <p>授業の進め方 トリミング作業の基本と流れ、トリマーとしての心構え、技術を段階的に学ぶ。また、週1回の授業なのでより有意義なものにする。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週～第15週</p> <p>☆ 各犬種規定の時間内に仕上げる。 小型・中型・大型犬</p> <p>☆ グルーマライセンス合格者から順にトリミング犬種のトリミング ・シーザー ・マルチーズ ・ペキニーズ ・コッカー など 全身バリカン仕上げ、スキバサミを使用する</p> <p>☆ バリカン、ハサミの確認がとれた者から動物看護科のみ受験可能な校内ライセンス試験の実施</p>		<p>第1週～第15週</p> <p>☆ 各犬種規定の時間内に仕上げる。 小型・中型・大型犬</p> <p>☆ 校内ライセンス合格者から順にトリミング犬種のトリミング ・シーザー ・マルチーズ ・ペキニーズ ・コッカー など 全身バリカン仕上げ、スキバサミを使用する</p> <p>☆ バリカン、ハサミの確認がとれた者から動物看護科のみ受験可能な校内ライセンス試験の実施</p>	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
『トリミング実習評価表』に基づく + 平常点（授業態度） 100%		+ 平常点（授業態度） ±10点	

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：60回（1授業45分）		後期/授業予定回数：60回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護コアテキスト第6巻	伊東 登	動物看護コアテキスト第6巻	伊東 登
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名＜動物看護師統一認定試験＞ 修得目標動物臨床検査学実習Ⅰでの実践能力に応用力を用いて正確性、迅速性を身につける。</p> <p>授業の特徴 動物や標本を材料とし、動物病院と同様の診療機器を用いて検査手技に習熟していく。DVDなど映像機器も利用する。</p> <p>授業の進め方 授業で理論的説明と実技を行い、終了後レポート提出。単元毎に小テスト、学期末に定期テストを行う。</p>		<p>目標取得資格名＜動物看護師統一認定試験＞ 修得目標動物臨床検査学実習Ⅰでの実践能力に応用力を用いて正確性、迅速性を身につける。</p> <p>授業の特徴 動物や標本を材料とし、動物病院と同様の診療機器を用いて検査手技に習熟していく。DVDなど映像機器も利用する。</p> <p>授業の進め方 授業で理論的説明と実技を行い、終了後レポート提出。単元毎に小テスト、学期末に定期テストを行う。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：生化学検査（1）採血法を含む 第2週：生化学検査（2） 第3週：生化学検査（3） 第4週：心電図（1） 第5週：心電図（2） 第6週：レントゲン（1） 第7週：レントゲン（2） 第8週：エコー検査（1） 第9週：エコー検査（2） 第10週：MRI・CT検査（1） 第11週：MRI・CT検査（2） 第12週：内視鏡 第13週：復習 第14週：定期テスト 第15週：解答・解説		第1週：生検と細胞診（1） 第2週：生検と細胞診（2） 第3週：膣スメア検査 第4週：微生物学的検査 第5週：皮膚検査（1） 第6週：皮膚検査（2） 第7週：神経学的検査（1） 第8週：神経学的検査（2） 第9週：血液ガス測定 第10週：血液凝固系検査 第11週：クロスマッチ検査 第12週：感染症の検査 第13週：眼科検査（1） 第14週：眼科検査（2） 第15週：復習 第16週：定期テスト 第17週：解答・解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ± 10点			

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：45回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<動物看護師統一試験></p> <p>修得目標</p> <p>麻酔導入から覚醒までの身体変化を理解し適切な対応ができる。また術野の準備から手術助手業務まで身に付ける。</p> <p>授業の特徴</p> <p>現場で実際に使用する器具・器材を使い実践感覚で器具の名称や扱い方を習得</p> <p>授業の進め方</p> <p>授業日の前半を座学に充て後半を実習に充てる</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：外科手術の目的と基本的概論</p> <p>第2週：消毒・滅菌の概論及び無菌的操作の習得①</p> <p>第3週：消毒・滅菌の概論及び無菌的操作の習得②</p> <p>第4週：外科器具・器材の名称と使用方法を習得①</p> <p>第5週：外科器具・器材の名称と使用方法を習得②</p> <p>第6週：術前準備① 手術準備のための滅菌・消毒</p> <p>第7週：術前準備② 外科内容に応じた準備</p> <p>第8週：術前準備③ 挿管・モニター等の麻酔管理</p> <p>第9週：縫合糸と縫合法 止血法 術中の対応①</p> <p>第10週：縫合糸と縫合法 止血法 術中の対応②</p> <p>第11週：前期総括</p> <p>第12週：手術の準備と説明</p> <p>第13週：手術の概略</p> <p>第14週：定期試験</p> <p>第15週：定期試験回答解説</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>素点 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			岩崎 忍
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名<動物看護師統一試験> 科目の必要性・業界での必要性 看護の基本を理解しながら、傷病動物を前にして 行うべきこと、予測されることを学ぶ 授業の特徴 さまざまな疾患のポイントを復習を先に行う 授業の進め方 グループワークなども取り入れて進める	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週： 呼吸器系疾患の看護1 第2週： 呼吸器系疾患の看護2 第3週： 泌尿器系疾患の看護1 第4週： 泌尿器系疾患の看護2 第5週： 生殖器系疾患の看護 第6週： 腫瘍動物の看護1 第7週： 腫瘍動物の看護2 第8週： 皮膚疾患の看護 第9週： 痒みを持つ動物の看護 第10週： 周術期の動物の看護1 第11週： 周術期の動物の看護2 第12週： 高齢動物の看護 第13週： 振り返り 第14週： 定期試験 第15週： 解答	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：週（1授業分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			岩崎 忍
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名<動物看護師統一試験> 科目の必要性・業界での必要性 動物特有の繁殖生理と来飲頻度の多い繁殖系の疾患を理解する 授業の特徴 雌雄の生殖器の構造が常に出てくるので、形態機能学をしっかりと理解しておく 授業の進め方 時にプリント配布・スライドを使用	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週： 雌の生殖器の復習 第2週： 犬と猫の性周期 第3週： 交配と妊娠 第4週： 正常出産 第5週： 助産と難産 第6週： 帝王切開 第7週： 新生児の管理 第8週： 生殖器の疾患1 第9週： 生殖器の疾患2 第10週： 生殖器の疾患3 第11週： 遺伝性疾患1 第12週： 避妊手術・去勢手術の意義 第13週： 振り返り 第14週： 定期試験 第15週： 解答	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト 第6巻	太田
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 基礎栄養素及び主に犬猫に必要な栄養素、ペットフードの基本的知識と特別療法食の特性など個体に合った適切な食事管理についての知識を身につける。</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方 座学</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：ペットフードの種類 第2週： 〃 第3週：ライフステージ別栄養管理 第4週：BCSとカロリー計算 第5週：エネルギーの形態 第6週：疾患別食事の特徴 第7週： 〃 第8週： 〃 第9週： 〃 第10週： 〃 第11週： 〃 第12週： 〃 第13週： 〃 第14週：定期試験 第15週：試験解答解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト第1巻 人と動物の関係 (ファームプレス)	皆上 太一
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 資格対策的要素が濃く、臨床での必要性は限定的です。</p> <p><u>授業の特徴</u> 動物看護職統一資格試験の過去問を解答解説し、関連する部分を教科書などの教材で掘り下げます。</p> <p><u>授業の進め方</u> 講義毎に小テストを行い、定期試験の代用とします。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		動物看護職統一資格試験過去問より 動物医療関連法規に属する設問を抜粋 これらの解答と解説など 第1週 2011年度 第2週 第3週 2012年度 第4週 第5週 2013年度 第6週 第7週 2014年度（2月） 第8週 第9週 2014年度（3月） 第10週 第11週 2015年度 第12週 第13週 2016年度 第14週 第15週 2017年度	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験±平常点（授業態度） 100点 10点	

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数： 週（1授業分）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		プリント	青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名<動物看護師統一試験> 科目の必要性・業界での必要性 主な内疾患の症状や治療法を理解し身体的・精神的 状況の観点から回復に至るまでの必要な事項を理解する 授業の特徴 臨床現場における入院症例をもとに解説 授業の進め方 学生に自主的に考えさせ入院管理の重要性を理解 ていく	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：一般的な内科疾患と外科疾患の看護法概論 第2週：症例の多い内科疾患の特徴と経過・看護法 第3週：上部及び下部気道の疾患に対する看護法 第4週：心臓及び血液疾患に対する適切な看護法 第5週：上部消化器系疾患に対する適切な看護法 第6週：下部消化器系疾患に対する適切な看護法 第7週：泌尿器系・FLUTDに対する適切な看護法 第8週：感染力の強いウイルス性疾患の基本対応 第9週：感染力の強いウイルス性疾患の管理法 第10週：骨・関節疾患に対する入院看護法 第11週：てんかんなどの神経疾患に対する管理法 第12週：脳・脊髄疾患に対する看護法 第13週：内分泌疾患に対する適切な看護法 第14週：生殖器疾患に対する適切な看護法 第15週：誤飲・中毒疾患による入院管理	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：17週（1授業90分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		プリント ビデオ	青木
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名<動物看護師統一試験> 科目の必要性・業界での必要性 臨床外科における手術の基礎知識を習得し動物看護師としての外科助手の役割を担えるようになる 授業の特徴 より実践的な外科実習と助手としての知識を高める 授業の進め方 模擬手術を行ない助手としての実践感覚を身につける	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：前期の復習 第2週：覚醒時の対応と覚醒後の疼痛・入院管理① 第3週：覚醒時の対応と覚醒後の疼痛・入院管理② 第4週：歯科疾患の処置（スケーリングと予防歯科） 第5週：去勢手術の準備と模擬手術① 第6週：去勢手術の準備と模擬手術② 第7週：避妊手術の準備と模擬手術① 第8週：避妊手術の準備と模擬手術② 第9週：整形外科の器具/手術法とキャスティング① 第10週：整形外科の器具/手術法とキャスティング② 第11週：腫瘍外科概論と疾患別手術法① 第12週：腫瘍外科概論と疾患別手術法② 第13週：軟部外科① 第14週：緊急外来対応 第15週：外科の総括	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：週（1授業分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 修得目標 動物看護実習Ⅰでの実践能力に応用力を用いて正確性、迅速性を身に付ける。 授業の特徴 座学・実習 授業の進め方 座学・実習	
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週：前期復習 第2週：エキゾチックアニマルの保定と飼育 第3週：　　　　　　〃 第4週：　　　　　　〃 第5週：　　　　　　〃 第6週：　　　　　　〃 第7週：　　　　　　〃 第8週：　　　　　　〃 第9週：　　　　　　〃 第10週：保定について 第11週：　　　　　　〃 第12週：　　　　　　〃 第13週：　　　　　　〃 第14週：定期試験 第15週：解答・解説	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験　＋　平常点（授業態度） 100%　　　　　±10点	

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト 第6巻 ファームプレス 他 配布資料あり	皆上まゆ子
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 新生子期特有の看護、伴侶動物の寿命が延びたことで来院数の増えた高齢動物についてのケアや配慮が必要。 授業の特徴 動物病院で出会う事例を取り上げながら学ぶ 授業の進め方 難しい内容も楽しく</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週 ◇若齢動物のケア・新生仔の健康チェック 第2週 ◇若齢猫・若齢犬に多い疾病 第3週 ・重症の子犬や子猫に対する管理 第4週 ◇子犬と子猫の行動発達 ・犬の行動発達・猫の行動発達 第5週 ◇予防と食事の指導 第6週 ・ワクチン 第7週 ・フィラリア・ノミ・ダニ予防 第8週 ・デンタルケア 第9週 ・パピークラス 第10週 ・避妊・去勢手術 第11週 ◇高齢動物のケア ・高齢動物の特徴 第12週 ・食餌管理 第13週 ・入院や預かり時の看護 第14週 ・褥瘡管理の要点 第15週 ◇高齢猫・高齢犬に多い疾病	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験＋平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数： 週（1授 分）		後期/授業予定回数： 30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト 第3巻 ファームプレス 他 配布資料	皆上 まゆ子
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名 <動物看護師統一試験></p> <p>科目の必要性・業界での必要性 調剤や、飼い主への説明は主にVTが行うので、専門的な知識が必要。</p> <p>授業の特徴 主に動物病院でよく扱う薬剤について、効果、副作用等を学ぶ。</p> <p>授業の進め方 難しい内容もたのしく。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週：薬理学総論 薬理学とは？ 第2週：薬物動態（ADME）、剤形 第3週：取り扱い、調剤時の注意 第4週：副作用 コンプライアンス 第5週：薬理学各論 神経系に作用する薬 第6週：消化器系に作用する薬 第7週：呼吸器に作用する薬 第8週：循環器に作用する薬 第9週：泌尿器に作用する薬 第10週：炎症とアレルギーの薬 第11週：ホルモン剤 第12週：抗生物質 第13週：駆虫薬 第14週：消毒薬 第15週：〈 総復習 〉	
成績評価方法		成績評価方法	
		素点+平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科2年/動物看護師科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護 実習テキスト	青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 診療現場で必要な看護技術の基本的な手技を身につける</p> <p>授業の特徴 実演</p> <p>授業の進め方 実演</p>	
		授 業 進 行 計 画	
		第1週：シミュレーション1 第2週： 〃 第3週：シミュレーション2 第4週： 〃 第5週：シミュレーション3 第6週： 〃 第7週：シミュレーション4 第8週： 〃 第9週：冷罨法 第10週： 〃 第11週：大型犬の介護 第12週：咬む犬への対応 第13週：亡くなった動物の処置 第14週：定期試験 第15週：試験解答解説 ※上記日程・内容については、生徒の習熟度および 生体確保等の理由により変更することがある	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 2年生			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト4 動物の行動と健康管理	今木 康彦
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<認定動物看護師> 科目の必要性・業界での必要性 動物看護師統一認定試験出題範囲 授業の特徴 認定試験対策を踏まえながら、伴侶動物、エキゾチック アニマル、産業動物、実験動物、展示動物、野生動物の 飼養管理について学んでいく 授業の進め方 レジメ、資料等を使い授業を進めていき、さらにビデオ をみて学びを深くしていく</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		<p>第1週～第3週：伴侶動物①犬の飼養管理 第4週～第6週：伴侶動物②猫の飼養管理 第7週：エキゾチックアニマル① ウサギの飼養管理 ハムスターの飼養管理 第8週：エキゾチックアニマル② モルモットの飼養管理 フェレットの飼養管理 第9週：エキゾチックアニマル③ 小鳥の飼養管理 第10週：産業動物① ウシの飼養管理 ヤギ・ヒツジの飼養管理 第11週：産業動物② ウマの飼養管理 ブタの飼養管理 第12週：産業動物③ ニワトリの飼養管理 農場HACCPについて 第13週：実験動物 第14週：野生動物 第15週：展示動物</p>	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		<p>素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点</p>	